

SDGs 狂言鑑賞会

1. 概要

青少年を主な対象に、古典の世界に触れることを通して、SDGs などの現代の社会における課題を発見、解決する力を高めるため、給湯流狂言師・河田全休氏の協力を受け、SDGs 教育向けの創作狂言を制作しました。2021年1月23日、大津市伝統芸能会館(大津市園城寺町)で公演し、同時にオンラインで配信しました。



2. 番組

①SDGs 狂言『てんてこマイ』(仮)

社会の課題解決に興味がある全休は、同じように社会に貢献したいと思っている友人を誘って街へ出かけます。プラスチックごみを減らすため、マイバッグやマイカップを用意しますが・・・



②SDGs トーク

そも SDGs とは、何でござる？ 狂言師・河田全休と一緒に、SDGs について考えよう！



③SDGs 狂言『サス山伏』(仮)

修行の途中で食べるものがなく困った山伏が柿を盗んで食べているところに、心の優しい畑主が通りかかり、柿を好きなだけ食べてよいというのですが・・・



④アフタートーク

SDGs について、狂言について、みんなで感想をシェアして、ざっくばらんに語ろう！



3. 主な出演者

河田 全休（かわた ぜんきゅう）氏



略歴

1999年、京都大学入学と同時に、京都学生狂言研究会(KGKK)に入会。およそ20年にわたり伝統的な狂言の習得に努める一方、体験授業やワークショップなど普及活動にも取り組んでいる。

2015年、給湯流茶道の狂言事業部の立ち上げをきっかけに「サラリーマン狂言」「婚活狂言」「SDGs 狂言」等の創作活動を開始。狂言の笑いを現代に広げる活動にも力を入れている。

2020年、合同会社オフィスKAJAの代表に就任。

ウェブサイト：<https://the-kyogen.com/ja/>

Twitter：https://twitter.com/kyogen_zenkyu

4. 参加者の感想

- ・「SDGs 狂言」非常にわかりやすく、古典と現代がうまく融合され能楽に親しみがない方でも十分に楽しめる内容です。能楽堂という場所で今回のような催しを開催できるということは、本当に子どもたちだけでなく、私たち大人にとっての学びもたくさんありました。このような場を維持されている人たちへの感謝、伝統と革新にチャレンジしている狂言師の方々には本当に頭が下がる思いです。
- ・私もマイバッグを持ち運んでいます。でも、マイバッグが汚れるのが気になってしまい、頻繁に買い替えてしまいます。SDGs に貢献したいけど何だか上手くいかないという全休さんの可愛らしい姿に共感し、モヤモヤした気持ちを持っていてもいいんだ!!と思えました。世のため人のためと言いながらも、同時に自分のために生きている人間の逞しさを肯定してくれる。狂言を通して私たちの現在を見つめる取り組み、とても興味深く感じました。ぜひ続けて下さい。

5. 当日の様子



6. 謝辞

公演を実施するにあたり、多くの方々のご支援やご協力を頂きました。公演自粛が続くなかで、

「未来へつなぐしが文化活動応援事業」補助金の助成を受けたことで、専門家の指導を受けながら万全の感染症対策を取って公演を実施することが出来ましたこと、心より感謝申し上げます。

本当にありがとうございました。